平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	11

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	小中学校教育備品整備事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		教育総務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	大和良成
事業の概要	教育水準向上に向けた義務教育教材等の整備及び校務推進上必要な管理備品について整備（更新）する。					

全体計画	/単年度繰返	
（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	34,000 千円
	事業費計	34,000 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～
	基本施策	#	学校教育の充実
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実
	事務事業の種類	■	自治事務　□ 法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	6,272 千円	3,938 千円	6,008 千円	6,042 千円	5,090 千円
	合計	6,272 千円	3,938 千円	6,008 千円	6,042 千円	5,090 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	児童・生徒・教職員	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	教育情勢の変化に伴う校務等における高額備品の計画的な整備対応	備品配備学校数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	日々の授業や校務の円滑な推進	① 町内小中学校数	目標年度	平成23年度
			目標値	6 校
			実績値	6 校
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	小中学校における教育環境の構築と児童生徒が受ける教育内容の充実	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
各学校の要望調査と内容査定	各学校における必要備品の要望調査をおこない、緊急性や必要性の確認を行った上で翌年度購入備品を決定。
必要備品の購入	複数業者による見積合わせにより備品を購入し各学校へ配備。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	■ 義務的なもの □ 全部 ■ 一部	教育水準向上に向けた義務教材等の整備並びに校務推進上必要な管理備品について整備（更新）し、教育内容と教育環境の充実を図るために必要な事業である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■ 達成 □ ほぼ達成 □ 下回る	小中学校の特色ある教育課程に対応した教材等の導入により、授業や校務の円滑な推進ができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■ 事業費抑制 □ 人員削減 □ 時間短縮・作業軽減 □ その他	査定の実施と複数業者による見積合わせを実施することにより、事業費の抑制が図られた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □ 受益者負担がある □ 受益者負担がない □ 受益が一部に偏る ■ その他	本事業の実施により学校運営上、全児童生徒に対して公平な整備が図られた。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
教材等の整備並びに校務に必要な備品の更新により、教育内容や教育環境の充実を図ることが出来た。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
授業や校務の円滑な推進のため、現状維持による継続が必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）